



2013年度 第1四半期決算

カンファレンスコール用資料

**2013年8月6日
参天製薬株式会社**



2013年度 第1四半期

連結業績概要

**執行役員 財務・管理本部長
越路 和朗**

2011-2013年度中期経営計画：基本方針

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現に向けて

1. グローバル視点での研究・開発へ転換
2. 新製品と営業戦略による国内でのシェア獲得と事業成長
3. 積極的な営業体制強化によるアジア事業、欧州事業の高成長
4. 世界4工場*体制への円滑な移行と、新興市場に対応した体制の構築
5. グローバルに創造と革新を担う組織強化・人材開発

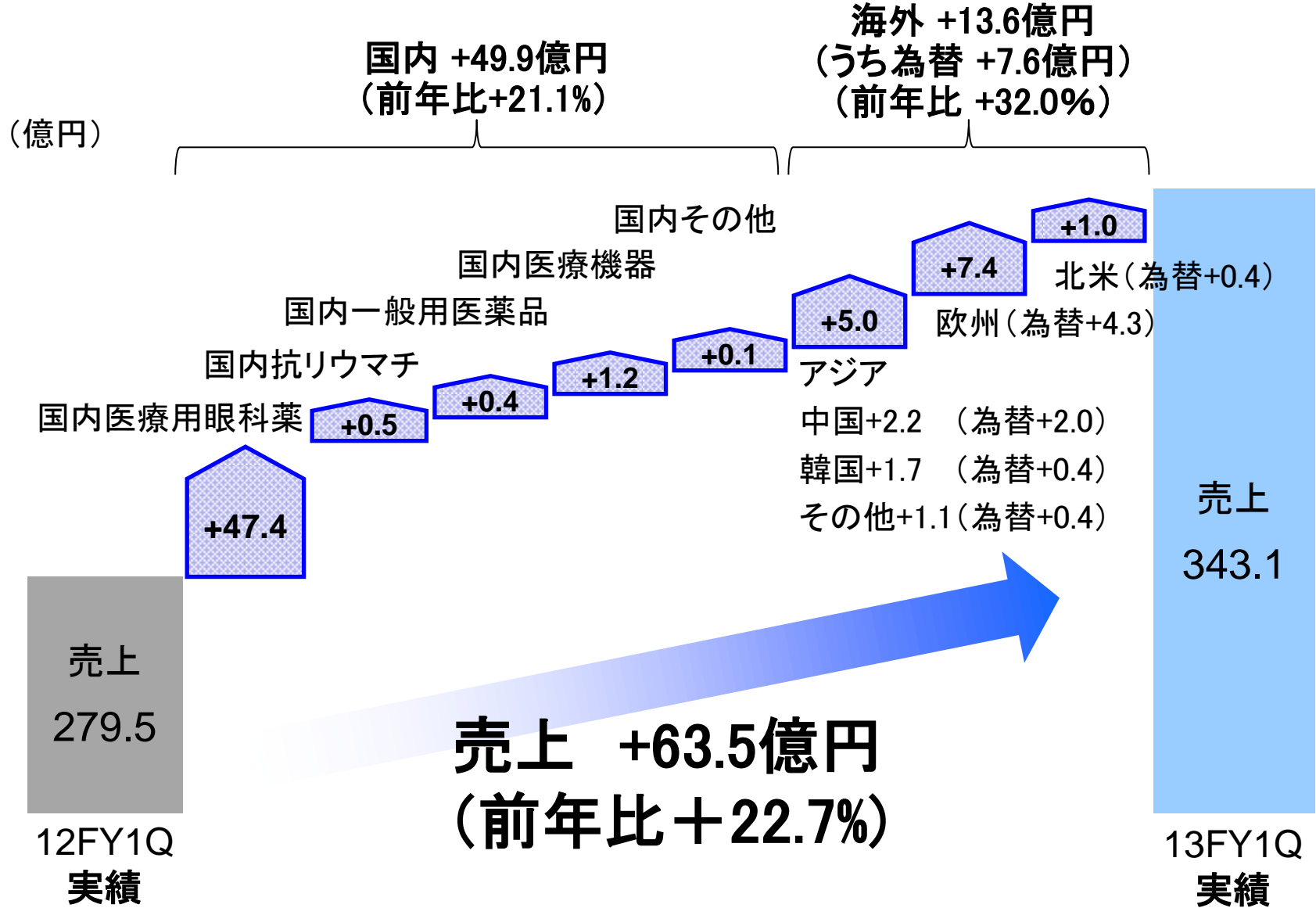
2013年度 第1四半期 決算概況

(単位:億円)	2012年度 第1四半期 実績	2013年度 第1四半期 実績	対前年同期 増減率
売上高	279.5	343.1	+22.7%
売上原価 (対売上高比率)	94.4 33.8%	135.0 39.3%	+42.9% +5.6pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	83.8 30.0%	91.5 26.7%	+9.2% ▲3.3pt
研究開発費 (対売上高比率)	40.0 14.3%	38.4 11.2%	▲4.0% ▲3.1pt
営業利益 (対売上高比率)	61.2 21.9%	78.1 22.8%	+27.6% +0.9pt
経常利益	65.4	82.1	+25.5%
当期純利益	42.7	55.6	+30.0%

<為替レート>	12FY1Q実績	13FY1Q実績
US\$	JPY 80.20	JPY 98.28
Euro	JPY 106.60	JPY 125.11
中国元	JPY 12.51	JPY 14.62

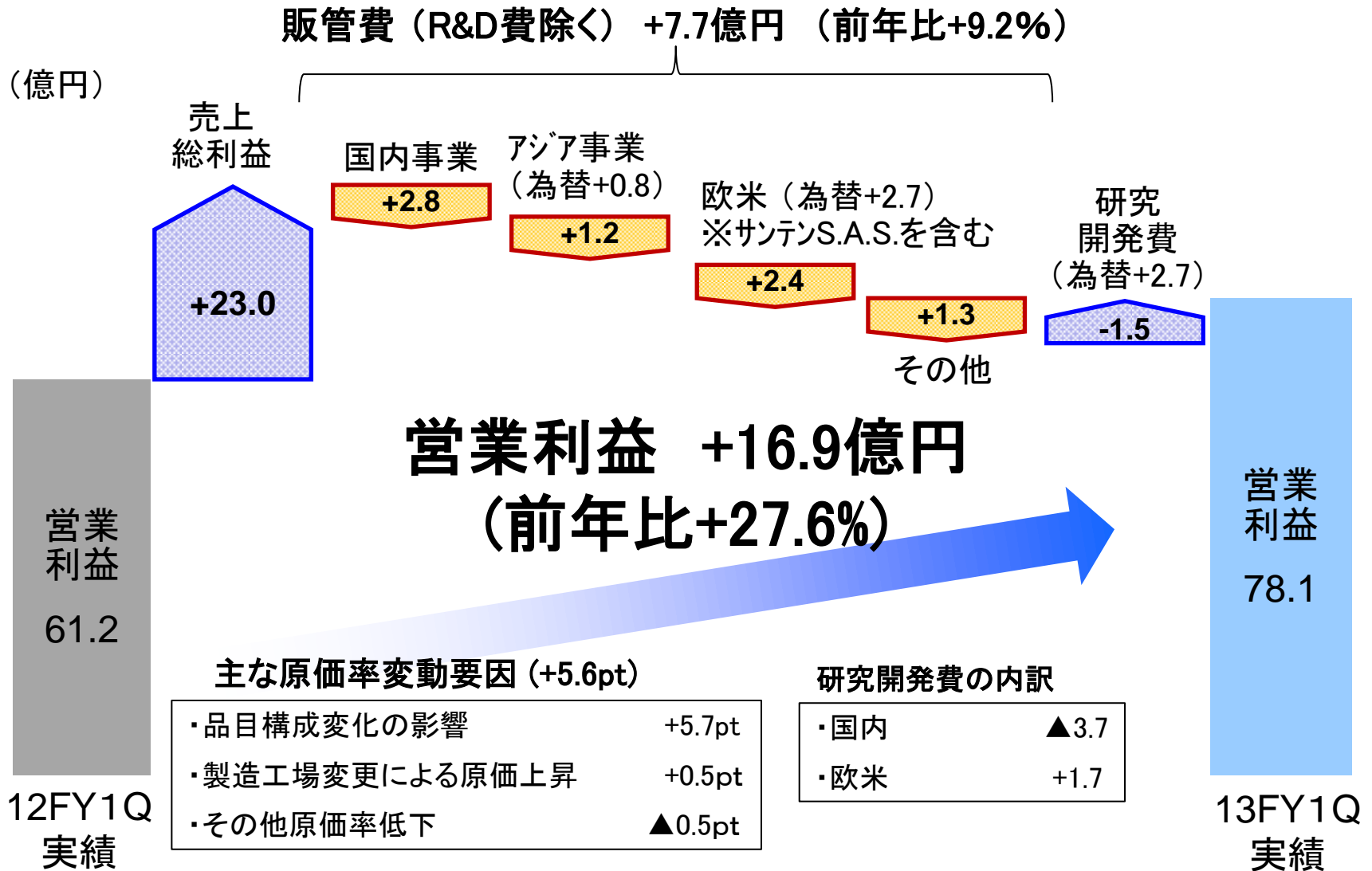
2013年度 第1四半期

売上高の増減内訳



2013年度 第1四半期

営業利益の増減内訳





參考資料
2013年度 第1四半期
連結業績概要

セグメント別売上高

(単位:億円)	2013年度第1四半期実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期増減率	売上高	対前年同期増減率	売上高	対前年同期増減率
医薬品事業	280.0	+20.7%	56.1	+32.2%	336.2	+22.5%
医療用医薬品	265.0	+21.9%	56.1	+32.1%	321.1	+23.6%
眼科薬	236.6	+25.1%	54.6	+31.9%	291.2	+26.3%
抗リウマチ薬	26.4	+2.3%	0.2	+70.6%	26.6	+2.7%
その他医薬品	1.9	▲18.1%	1.2	+34.1%	3.2	▲3.9%
一般用医薬品	15.0	+3.4%	0.0	+160.4%	15.1	+3.8%
その他	6.7	+36.0%	0.1	▲17.6%	6.8	+34.7%
医療機器	6.1	+25.0%	0.1	▲17.6%	6.2	+24.0%
その他	0.5	—	—	—	0.5	—
合計	286.8	+21.1%	56.2	+32.0%	343.1	+22.7%

海外売上高(仕向地別)

(単位:億円)	2012年度 第1四半期 実績	2013年度第1四半期		
		実績	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	1.5	2.5	+1.0	+70.9%
欧州	22.3	29.7	+7.4	+33.2%
アジア	18.7	23.8	+5.0	+27.0%
その他	—	0.0	+0.0	—
合計	42.6	56.2	+13.6	+32.0%
海外売上高比率	15.3%	16.4%	+1.2pt	—

貸借対照表

(単位:億円)	2013年3月末		2013年6月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,325.8	66.4%	1,309.3	64.3%	▲16.4
固定資産	670.5	33.6%	726.2	35.7%	+55.6
資産合計	1,996.4	100.0%	2,035.5	100.0%	+39.1
流動負債	270.1	13.5%	251.1	12.3%	▲19.0
固定負債	74.9	3.8%	99.4	4.9%	+24.4
負債合計	345.0	17.3%	350.5	17.2%	+5.4
純資産合計	1,651.3	82.7%	1,685.0	82.8%	+33.6
負債純資産合計	1,996.4	100.0%	2,035.5	100.0%	+39.1

【主要変動科目】

- 流動資産: 現金及び預金▲55.2億円、受取手形及び売掛金+35.7億円、商品及び製品▲4.4億円
- 固定資産: 建物及び構築物+10.4億円、建設仮勘定▲8.2億円、のれん+1.2億円、仕掛研究開発+3.5億円、投資有価証券+41.3億円
- 流動負債: 支払手形及び買掛金+3.6億円、未払金▲11.2億円、未払法人税等▲8.2億円、賞与引当金▲15.4億円、その他流動負債+12.2億円
- 固定負債: 長期繰延税金負債+1.1億円、退職給付引当金+24.1億円
- 純資産 : 利益剰余金+16.6億円、その他有価証券評価差額金+13.7億円、為替換算調整勘定+18.6億円
退職給付に係る調整累計額▲16.6億円

※ 発行済株式数: 13年3月末 82,469千株 → 6月末 82,513千株

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円)	2012年度 第1四半期 実績	2013年度 第1四半期		主な差異要因
		実績	前年比	
売上高	279.5	343.1	+22.7%	
売上原価 (対売上高比率)	94.4 33.8%	135.0 39.3%	+42.9% +5.6pt	・品目構成の変化+5.7pt ・製造工場変更による原価上昇+0.5pt ・その他原価率低下▲0.5pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	83.8 30.0%	91.5 26.7%	+9.2% ▲3.3pt	・国内事業 +2.8億円 ・アジア +1.2億円 ・欧米+2.4億円
研究開発費 (対売上高比率)	40.0 14.3%	38.4 11.2%	▲4.0% ▲3.1pt	・国内▲3.7億円 ・欧米+1.7億円
営業利益 (対売上高比率)	61.2 21.9%	78.1 22.8%	+27.6% +0.9pt	
営業外収益	4.6	4.5	▲2.6%	
営業外費用	0.4	0.5	+20.4%	
経常利益	65.4	82.1	+25.5%	
特別利益	0.1	-	--	
特別損失	-	0.0	--	
税金等調整前当期純利益	65.6	82.1	+25.2%	
法人税等	22.8	26.5	+16.1%	
当期純利益	42.7	55.6	+30.0%	

<為替レート>	12FY1Q実績	13FY1Q実績
US\$	80.20円	98.28円
Euro	106.60円	125.11円
中国元	12.51円	14.62円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2013年度 第1四半期実績
現金等期首残高	597.9
現金等 増減額	▲55.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	+16.5
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲38.1
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲38.9
現金等に係る換算差額	+5.2
現金等期末残高	542.6

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません

設備投資額/減価償却費

(単位:億円)	2012年度 第1四半期 実績	2013年度 第1四半期	
		実績	増減額
設備投資額	4.5	10.2	+5.6
減価償却費	5.8	5.6	▲ 0.2



参考資料

2013年度 連結業績予想

2013年度 連結業績予想

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度 予想	対前年同期 増減率
売上高	1,190.6	1,345.0	+13.0%
売上原価 (対売上高比率)	415.0 34.9%	480.0 35.7%	+15.7% +0.8pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	361.6 30.4%	420.0 31.2%	+16.2% +0.9pt
研究開発費 (対売上高比率)	167.1 14.0%	182.0 13.5%	+8.9% ▲0.5pt
営業利益 (対売上高比率)	246.8 20.7%	263.0 19.6%	+6.6% ▲1.2pt
経常利益	256.0	268.0	+4.7%
当期純利益	165.2	182.0	+10.2%
ROE	10.0%	10.7%	+0.7pt

<為替レート>	12FY累計実績	13FY予想
US\$	JPY 82.91	JPY 94.00
Euro	JPY 106.01	JPY 124.00
中国元	JPY 12.64	JPY 15.10



参考資料

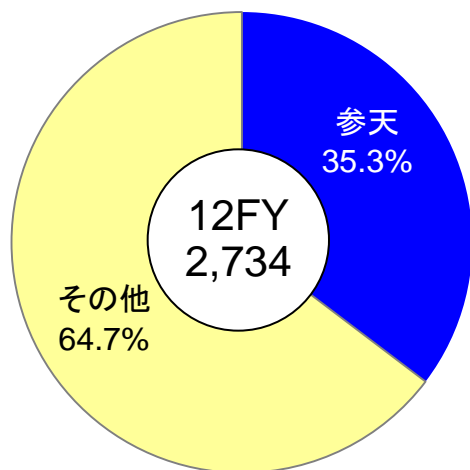
国内医療用眼科薬市場概況

国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科薬計：13FY1Qの市場規模は対前年+8.1%。網膜、緑内障、角膜領域の市場拡大傾向続く。参天シェア39.8%
- ・緑内障：市場は対前年+6.9%の拡大。参天はタプロス、コソプトの寄与により、対前年+7.9%、シェア30.6%
- ・角膜：市場は対前年+12.9%の拡大。参天はジクアスが伸長し、対前年+7.5%、シェア72.3%

市場規模:億円
%:金額ベース

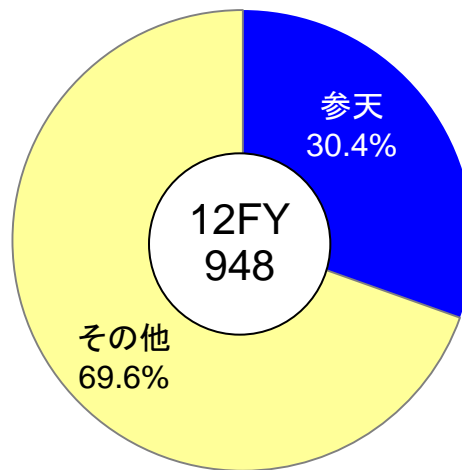
眼科薬計



12FY 13FY1Q

(金額) 前年比	市場	+7.3%	+8.1%
	参天	+4.9%	+21.5%
参天シェア		35.3%	39.8%

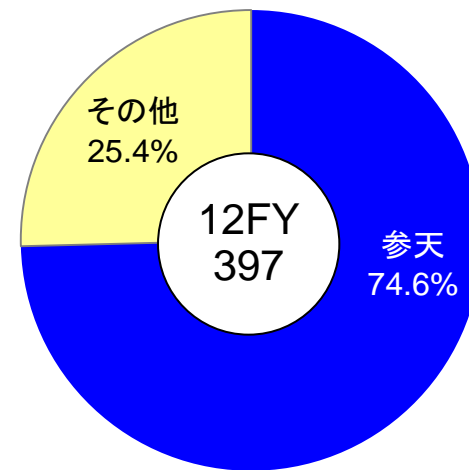
抗緑内障剤



12FY 13FY1Q

市場	+2.8%	+6.9%
参天	+10.2%	+7.9%
参天シェア	30.4%	30.6%

角膜疾患治療剤



12FY 12FY1Q

市場	+11.3%	+12.9%
参天	+7.1%	+7.5%
参天シェア	74.6%	72.3%

- 主な参天製品:

- ・抗緑内障剤: タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
- ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン、ジクアス

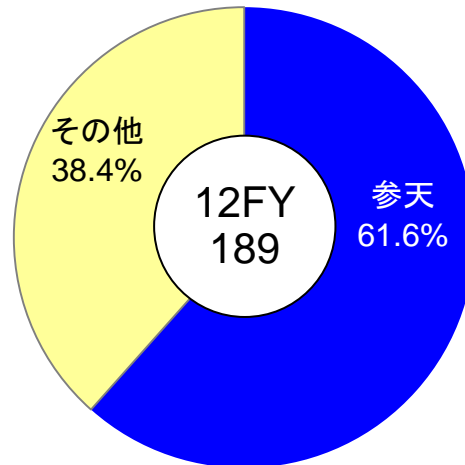
出典: ©2013 IMS Health
IMS-JPM 2011-13を基に参天分析
無断転載禁止

国内医療用眼科薬（抗菌・抗アレルギー）

- ・抗菌：13FY1Q市場規模は対前年-4.1%の縮小。参天はクラビットを中心にシェア60.3%を確保
- ・抗アレルギー：13FY1Qの市場規模は対前年-11.9%の縮小。参天シェアは18.1%

市場規模: 億円
%: 金額ベース

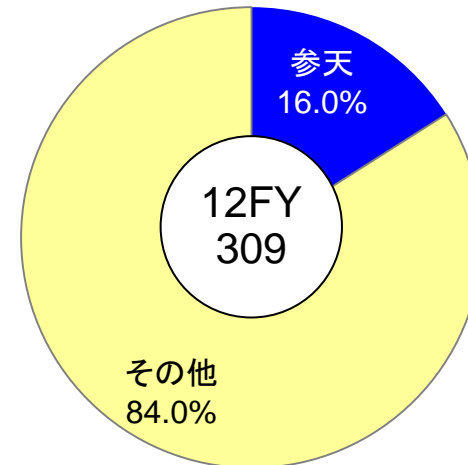
抗菌点眼剤



12FY 13FY1Q

(金額) 前年比	市場	-11.9%	-4.1%
	参天	-19.6%	-6.8%
参天シェア		61.6%	60.3%

抗アレルギー剤



12FY 13FY1Q

	市場	+16.8%	-11.9%
	参天	+6.4%	-12.8%
	参天シェア	16.0%	18.1%

-主な参天製品:

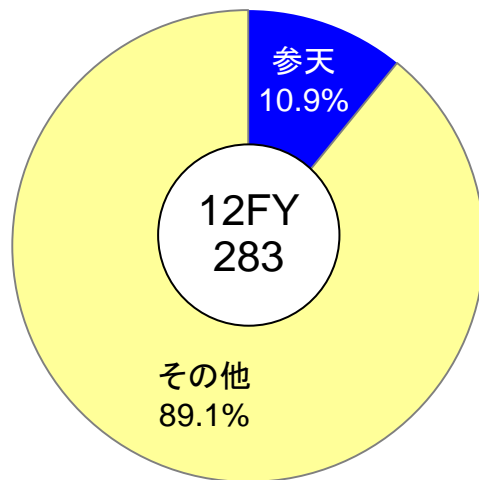
- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
- ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサール
- ・抗リウマチ剤: リマチル、アザルフィジン、メトレート

国内医療用眼科薬（抗VEGF）／抗リウマチ薬

- ・抗VEGF：13FY1Q市場規模は対前年+39.4%の拡大。参天シェアは50.3%
- ・抗リウマチ：13FY1Q市場規模は対前年+1.8%の拡大。参天シェアは39.2%

市場規模：億円
%：金額ベース

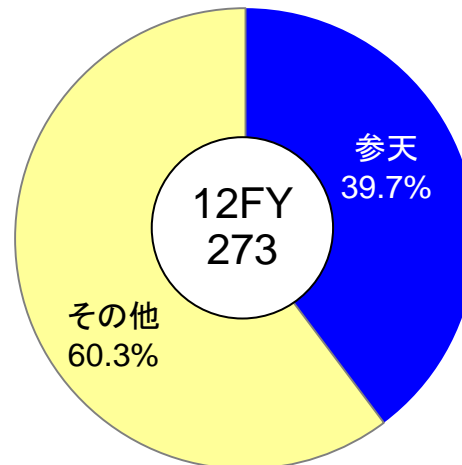
抗VEGF剤



12FY 13FY1Q

(金額) 前年比	市場	+30.1%	+39.4%
	参天	—	—
参天シェア		10.9%	50.3%

抗リウマチ剤(DMARDs)



12FY 13FY1Q

市場	+0.3%	+1.8%
参天	-2.8%	-0.5%
参天シェア	39.7%	39.2%

出典：©2013 IMS Health
IMS-JPM 2011-13を基に参天分析
無断転載禁止



参天製薬株式会社

2013年度 第1四半期

新製品開発の現状

執行役員
研究開発本部長
金子 隆志

主要臨床プロジェクト状況一覧①【領域別】

(赤字下線: 12FY4Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障	DE-117 EP2受容体作動薬			中国 DE-085 タフルプロスト	
		DE-090 ロメリジン塩酸塩		欧州 DE-111 日本 タフルプロスト/チモロール	DE-118 タフルプロスト
角結膜疾患	米国 DE-105 日本 ペプチド組合せ剤			中国 DE-089 韓国 ジクアホソルナトリウム	
		米国 Cyclokat 欧州 シクロスポリン			
網膜 ぶどう膜 疾患			DE-109 シロリムス		
		DE-102 ベタメタゾン			
その他 感染症・アレルギー・RA		DE-098 抗APO-1抗体		DE-114 エピナスチン塩酸塩	
			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクト状況一覧②【地域別】

(赤字下線: 12FY4Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

実施地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
日本			DE-102 ベタメタゾン		DE-118 タフルプロスト
		DE-090 ロメリジン塩酸塩		DE-111 タフルプロスト/チモロール	
		DE-105 ペプチド組合せ剤		DE-114 エピナスチン塩酸塩	
		DE-098 抗APO-1抗体	DE-109 シロリムス		
北米 (ラテンアメリカ含む)	DE-117 EP2受容体作動薬		DE-109 シロリムス		
	DE-105 ペプチド組合せ剤	Cyclokat シクロスポリン			
アジア (オセアニア含む)				中国 DE-085 タフルプロスト	
				中国 DE-089 ジクアホソルナトリウム	韓国
欧州			DE-109 シロリムス	DE-111 タフルプロスト/チモロール	
			Cyclokat シクロスポリン		
			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
日本	承認申請中	承認申請中	一般名： タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩(配合剤)
欧州	承認申請中	P3	

■DE-117

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
米国	P1/2a	P1/2a	EP2受容体作動薬 (プロスタグランジン系)

主要臨床プロジェクトの現状 — 緑内障・高眼圧症、角結膜疾患 —

■DE-118 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
日本	承認取得	承認取得	一般名：タフルプロスト (防腐剤無添加・1回使い切りタイプ)

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
アジア	中国：承認申請中 韓国：承認取得	中国：承認申請中 韓国：承認取得	一般名： ジクアホソルナトリウム

主要臨床プロジェクトの現状

— 角結膜疾患、
— 感染症・アレルギー・リウマチ—

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
日本	P2終了	P2	ペプチド組み合せ剤
米国	P2準備中	P2準備中	

■DE-114 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
日本	承認申請中	承認申請中	一般名： エピナスチン塩酸塩

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
日本	P2終了	P2終了	抗APO-1抗体

主要臨床プロジェクトの現状 — 網膜/ぶどう膜疾患 —

■DE-102 糖尿病および網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/8発表時)	
日本	P2/3	P2/3	一般名:ベタメタゾン

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/8発表時)	
米国	P3	P3	一般名:シロリムス
日本	P3	P3	
欧州	P3	P3	

主要臨床プロジェクトの現状ーサンテン・エス・エー・エス

■Cyclokate(シクロカット) 重症ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
欧州	P3	P3	一般名:シクロスポリン
米国	P2終了	P2終了	

■Vekacia(ベカシア) 春季カタル

地域	開発段階		備考
	今回	前回(5/8発表時)	
欧州	P3	P3	一般名:シクロスポリン

※以下のものは事業性評価中

開発品名	適応症	地域	開発段階	備考
Catioprost (カチオプロスト)	緑内障・ 高眼圧症	欧州	P2	一般名: ラタノプロスト
Cortiject (コルチジェクト)	糖尿病 黄斑浮腫	米国	P1/2	一般名:デキサメタゾン パルミチン酸エステル

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。